

評価規準って何？

評価規準・・・評価観点によって示された子供につけたい力を、より具体的な子供の成長の姿として文章表記したもの ⇒到達目標(子供のゴール像)

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を参考に作成してください！



評価規準



知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

○知識

- ①～言ったり書き出したりしている。
②～について、学習した具体例を挙げている。など

○技能

- ①～ができる。
②～ができる。など

○思考・判断

- ①～指摘している。
②～発見している。
③～提案している。
④～見付けている。など

○表現

- ①～発表している。
②～伝えている。など

- ①～取り組もうとしている。
②～高め合おうとしている。
③～健康・安全を確保している。など

評価規準・・・「内容のまとめりごとの評価規準」、「単元ごとの評価規準」を作成してください。



「内容のまとめりごとの評価規準」は、学習指導要領解説の内容を参考に、「単元ごとの評価規準」は、学習指導要領解説の例示を参考に、各学校の実態に応じて作成してください。

国立教育政策研究所 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P43～科目体育：P44～科目保健：P52～をみてください。

※ 評価規準は、「B(おおむね満足できる)生徒の姿」を文章で表記します。

A・・・十分満足

B・・・おおむね満足

C・・・努力を要する(→授業改善、個別指導等が必要)

B評価の中でB1,B2,B3のように大きくはBだが、細かく分けるとBの中に3段階あっても構いません。

C評価の生徒が出ないような指導をする必要があります。

その生徒が、もともと持っている資質・能力を評価するのではなく、先生が指導したことを評価します。 → 指導と評価の一体化



評価≠評定

観点別評価を評定に落とし込んでいきます。

→ Ver.2(評定の出し方を参考にしてください。)

学習カード・振り返りシート等を評価の参考にしましょう！

例

F 武道(剣道) 知識「技の行い方」

Table with 3 columns: 実現状況, 判断の目安, 生徒の回答例. Rows show evaluation levels A, B, and C with corresponding criteria and student responses.

※ 学習評価の妥当性や信頼性を高め、授業改善や組織運営の改善に向けた学校教育全体の取組みに位置付ける観点から、組織的かつ計画的に取り組むこと

(国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P5)

「指導と評価の一体化」は、指導したことを評価することです。生徒の姿を正しく評価しましょう！

